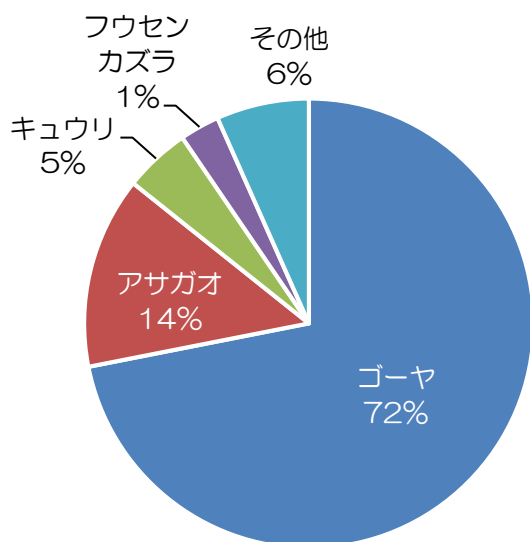


ふなわりくんの 広げよう！緑のカーテンの輪



市内で緑のカーテンを育てられた市民 183 名、事業者／公共施設 63 か所より育成アンケートの提出がありましたので、ご紹介します。

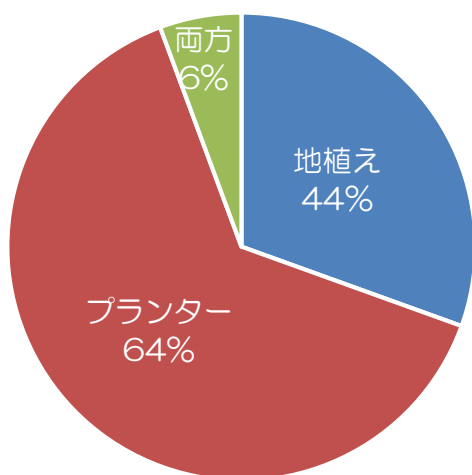
1. どんな植物を緑のカーテンに利用しましたか？



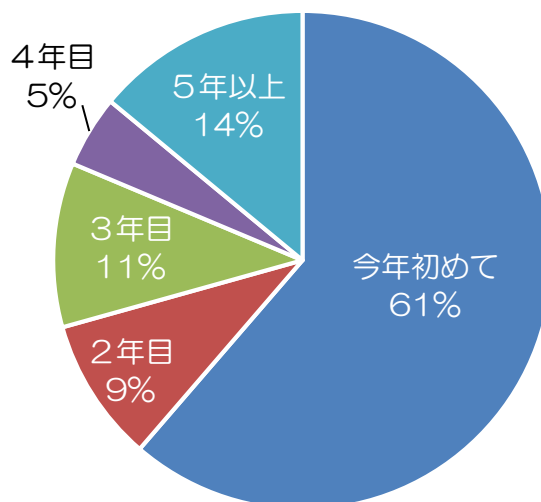
その他の回答としては、

かぼちゃ、ツルムラサキ、ハヤトウリ、ヘチマ、ルコウソウ、トケイソウ、シカクマメ、サヤエンドウなど、様々な種類の植物が使われていました。

2. どこに植えましたか？



3. 経験はどれくらい？



4. どれくらいの大きさ？

	幅の平均 (m)	高さの平均 (m)
市民	2.0 m	2.6 m
事業所・公共施設	3.5 m	4.0 m

5. みんなの感想

緑のカーテンを育てた方の感想等を抜粋して紹介いたします。

<緑のカーテンの効果について>

- ・酷暑で外出自粛の為とっても癒されました。
- ・8月は猛暑が続いたため緑のカーテンが役立ちました。
- ・茂った葉っぱでリビングの目隠しになったし、涼しく感じられたので、来年もチャレンジしたいと思った。
- ・初めてグリーンカーテン作りをしましたが、とても楽しい経験となりました。また来年ももっとうまく大きいグリーンカーテンを作りたいです。また、ゴーヤだけでなく、朝顔やへちまにも挑戦してみたいと思います。
- ・庭が全面芝生で緑は見ていたのですが、苗木を植えていなかった為、今回初めてリビング窓から風になびくゴーヤのツルや葉を見て、癒しを感じました。風を感じる事でこんなに安らげると発見出来た事が嬉しい副産物でした。ゴーヤは美味しく頂きました！
- ・今年は雨が多く、始めは成長が芳しくありませんでしたが、その後はどんどん育って保健室が緑のカーテンで覆われました。おかげで保健室は直射日光が当たらず快適だったようです。
- ・緑のカーテンを育成して、ゴーヤを育てる楽しみや涼しさを与えてくれる素晴らしい植物だと実感した。授業で観察に来た児童が緑のカーテンの裏側に入り「涼しい。」「ゴーヤが実っている。」と嬉しそうに話し、感動していた。暑いとエアコンに頼ってしまいがちだが、緑のカーテンの力を利用して、夏の日差しを防ぎ、室内の温度を下げる効果があった。今回、児童と共に体験し、また来年度も緑のカーテンを育成したいと思った。
- ・このゴーヤのカーテンがないと、暑さに耐えられない！毎年の風物詩になっているゴーヤです。

<ゴーヤ以外の植物を植えた方より>

- ・朝顔の種を購入し、植えてから水やりを控えました。弦が伸びて育ってくれました。花が3色に咲いてくれたので朝、朝顔を見るのが楽しみでした。
- ・種を植えてからも7月の低気温、8月の高温にやきもきし毎日水やりと観察日記を書く日々でした。今年

の夏の1日1日がこの朝顔と共にありました。初めて花が咲いたときの感動は忘れられません。このグリーンカーテンは私のこの夏の思い出です。

- ・毎年緑のカーテンを楽しんでいるが、今年は従来のゴーヤ&朝顔の他にハヤトウリを楽しんだ。ハヤトウリはゴーヤより早くから遅くまで緑を楽しむことが出来ました。今年も7月は日照時間が少なく心配しましたが、8月以降暑くなり成長の早さを楽しみました。

<コミュニケーションツールとして>

- ・今年は何年以上に葉が茂り、緑のカーテンとしては最高の出来でした。梅雨明けから実がなりだし6kg以上収穫しました。佃煮にして配り喜ばれました。ありがとうございました。
- ・とにかく毎年変化があり楽しみです。緑のカーテンにより涼しさ、電気代の節約、近所とのコミュニケーションを楽しんでいますが、地球温暖化の影響も実感しています。
- ・息子と栽培・観察を楽しくできたことはすごくよかったと思っているので来年もまた挑戦してみたいです。
- ・園庭のブランコの枠を利用しネットをかけて三角トンネルのようにしました。子供達がその下をくぐって葉や花の様子を見たり、ぶら下がっている実を触ったり、涼しみながら自然とのふれあいを楽しむことができました。
- ・職場(小学校)の事務室と図書室のベランダに緑のカーテンを育成しました。初挑戦だったので、わからないことが多く、本やネットでいろいろ調べ、試行錯誤しながらの育成でした。今年はとても暑く、休日の水やりもかかせなかったのが大変でしたが、そのような過程で、育成にかかわる職員同士のコミュニケーションが増えました。収穫できた時の喜びも格別で、市販のものより、ずっとおいしかったです。
- ・栽培委員会の児童とゴーヤの育成をしました。児童は毎日水やりや雑草取りを熱心に行ってくれました。その結果、校舎の3階付近の高さまで成長させることができました。学校の児童も前を通るたびゴーヤを探す姿が見られました。

<子供たちの教育として>

- ・今年度は、コロナウイルスによる休校で、一緒に種植えや移植ができなかったが生徒と一緒に水やりや摘心をして育てた結果、7月中旬までできゅうりは50本近くゴーヤも小さな実が多数成って、これからさらに収穫するのも楽しみである。食育にもつながり、とても良い教育活動となった。
- ・緑のカーテンは、保健室前と、プール脇のヘチマ脇の2カ所にあります。保健室前は、2階近くまでツルが伸びました。プール脇のヘチマ棚の方も大きく成長し、緑のトンネルのようになりました。子供たちは理科や生活科の授業を通して、ゴーヤがどんどん育っていく姿に関心をもって観察していました。
- ・理科の学習に絡めたり、総合の学習で環境について考えたりするきっかけになり役に立った。
- ・4年生の理科の勉強にも欠かせません。緑のゴーヤが黄色の実になり、実からのぞく赤い種に子どもはいつも驚きの声を上げます。
- ・子供達が毎日の成長を楽しみに観察していた。植物がそばにあることで、生き物の大切さを身近に感じる事ができた。水が足りなくなった時には、元気がなくなったゴーヤを見て、可哀相に思う児童がいた。心の成長に大きく役立った。来年も是非取り組みたいと考えている。
- ・子供達が、より自然に興味をもってくれたと感じました。暑い中でも一生懸命に世話をし、成長する過程と一緒に見る事ができました。実ができるたびに、子供達が楽しそうに報告し、生命愛が芽生えたと感

じます。涼しさ以外の効果を感じることができました。

<育成する際の工夫について>

- ・だんご虫が強敵でした！！苗が小さい時は毎日だんご虫の捕獲に子供と闘いました。
- ・去年は摘芯をためらい、上手く育つことができなかつた為、今年は反省を活かし思い切って摘芯し追肥や蔓の誘導等適宜行いました。手をかけることで成長が感じられとても楽しかったです。クラス出入口にネットを張ったので花や実の様子等植物の成長の様子に子供達が触れることができ良い機会となりました。

<うまく育成できなかつた方より>

- ・たくさんのダンゴムシに葉を全部食べられてしまいました
- ・種が発根しませんでした。原因として考えられること 1.種をカットし過ぎ 2.水の量 3.気温が低い来年、またチャレンジしたいです
- ・芽が出ませんでした。ゴーヤの芽を出すのって大変なんだと思いました。またチャレンジします。
- ・今年は雨が多く、思うように育たなかつた。
- ・7月の日照不足が原因だと思います。
- ・2階ベランダにプランターを置いて育てました。日当たりが強いので水を朝晩やっていたのですが、キノコが生えてきましたので、水のやり過ぎだったのか？うまくいきませんでした。普段草花を絶やさないようにしていますので、育てることに不安は無かつたので失敗するとは思いませんでした。

<その他>

- ・エコノートをつけることにしました。
- ・種子を発芽させるのが難しく、ひとつだけやっと発芽したので、地面に移植しました。それが驚く程に成長したので、びっくりしました。有難うございました。
- ・プランターで育てました。長い梅雨にも負けず、これほど元気で沢山実もなったのは初めてです。白ゴーヤは甘酢につけて毎日食べています。来年も又挑戦したいと考えています。ありがとうございました。
- ・子どもたちには油で揚げてカレー粉をまぶしたカレーチップが人気だった。
- ・白ゴーヤは種から育てたので愛着を感じた。

6. アンケート結果から

今年度は、新型コロナウイルス感染症影響により、市民の皆様へのゴーヤの苗の配布を行うことが出来ませんでした。

一方で、白ゴーヤの種の希望を募り希望者に送付を行いました。例年以上の応募がありました。その影響もあり、市が配布した種を使った方が、令和元年度13%に対し令和2年度58%となりました。また、今年初めて実施した方が昨年の12%に対し今年度は61%となりました。

アンケートを確認すると、ゴーヤの種の発芽が上手くいかなかったとの声や、梅雨が長く上手く育たなかつたなどの声がありました。

ゴーヤの種の発芽には温度管理が重要ですので、外気温が低い場合は室内で育てるなど、工夫が必要です。詳しくは、「緑のカーテンの育て方」をご覧ください。

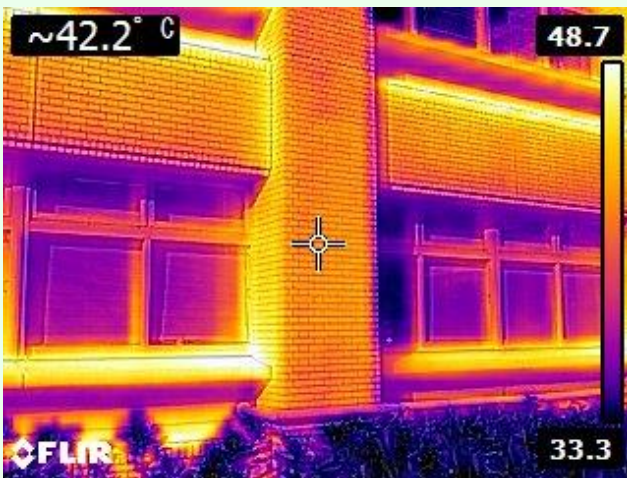
緑のカーテンコラム

～どうして植物でカーテンをつくるの？～

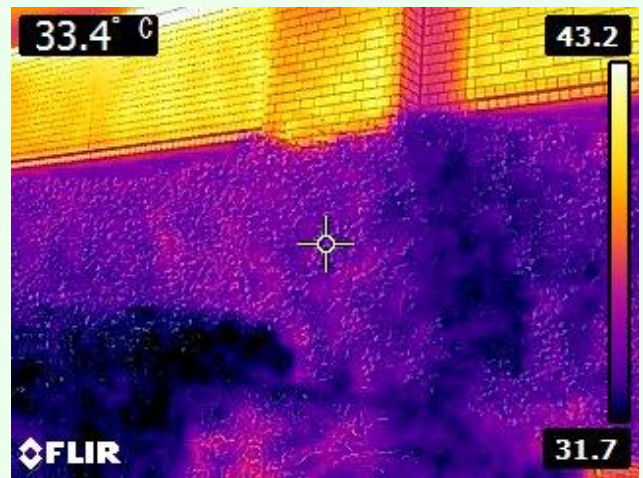
どうして緑のカーテンが推奨されるのでしょうか。日差しを遮る目的なら、すだれでもいいのではと思ったことはないでしょうか。

植物でカーテンを作ることの理由の1つに、「蒸散作用」があります。主に植物の葉にある気孔から大気中に水蒸気を放出する現象で、その際に気化熱により熱が奪われます。このことにより緑のカーテンは涼しい状態を保つのです。

次の写真は、緑のカーテンをサーモグラフィカメラで撮影したものです。



本庁舎南側の壁面
(表面温度 42.2°C)



本庁舎南側の緑のカーテン
(表面温度 33.4°C)

このように、緑のカーテンの表面温度は低く保たれることが分かります。

他にも育成アンケートによると、緑に癒された、近所とのコミュニケーションが増えたなど、心理的な効果も期待できます。自由意見欄には、ゴーヤを収穫しおいしく食べることができて元気になった、子供たちと一緒に植物の成長を考えるきっかけとなったなど、様々な効果が報告されました。

